

給食だより

(毎月18日は のぎ地産地消の日)



令和6年

3月号

野木町立野木中学校

給食から、どんなことを学びましたか？



卒業や進級など節目を迎える時期となりました。給食は、「心と体の栄養になるように」「おいしく安心して食べられるように」など、たくさんの思いを込めて作っています。皆さんは、給食を食べながら、どんなことを感じ、学んだのでしょうか？

今年度の給食もあと少しで終わりです。この1年を振り返るとともに、残りの日々も給食をしっかりと食べて、元気に学校生活を送ってほしいと思います。



まちのみなさんの支えがあって

問題です。給食には材料のほかに、煮たり冷蔵庫を動かすためのガスや電気代、また壊れた機械や道具を直すための修理代がかかります。このお金は誰が支払っているのでしょうか？

- ① 校長先生
- ② 保護者の方
- ③ 住んでいるまちのみなさん



正解は「③住んでいるまちのみなさん」です。保護者のみなさんが支払ってくれる給食費は、給食の材料費に使われます。そのほかの給食をつくるのに必要なお金、たとえば調理にかかわる光熱費や機具の修理代、調理員さんたちへのお給料などは、実はみなさんが住んでいるまちのみなさんから集めた税金から支払われています。

税金は、私たちが安心して心豊かに暮らしていくために、公共のサービス（ごみの収集、警察や消防、救急など）や公共の施設（学校、公園、図書館、道路など）に使われます。どれも多くの人が利用するものですね。また困っている人を社会全体で支える活動（医療、介護、福祉など）にも使われています。

みなさんの給食にも、実はこの税金がたくさん使われています。それはみなさんが栄養のバランスのとれたおいしい給食を食べて、学校で友だちや先生と一緒に勉強やさまざまな活動をしなが、元気にしこく、そして優しく育てることが、まちを元気に、そして豊かにしてくれるからです。そして将来、みなさんが大人になったときに、同じようにまちの子どもたちやみんなを支えてくれるようにという願いも込められています。



ひな祭り と 行事食



3月3日は、ひな祭りです。女の子の健やかな成長と幸せを願う行事で、「桃の節句」や「上巳の節句」ともいいます。平安時代のころ、紙で作った人形に心身のけがれを移して川や海に流し、厄を払う風習がありました。今でも、「流しびな」として、この風習が受け継がれている地域もあります。これに、貴族の女の子の人形遊びが結び付いて、現在のようないな祭りに変わっていったとされています。

<h3>ちらしずし</h3> <p>ひな祭りに食べられるようになったのは、最近のことです。おせち料理と同じように、エビやれんこんなど、縁起の良い食べ物が使われます。</p>	<h3>ひなあられ</h3> <p>関東地方では米粒形のボン菓子、関西地方では丸形のあられと、味や形が異なります。春夏秋冬を表す「桃・緑・黄・白」の4つの色が付けれられているのが特徴です。</p>
<h3>はまぐりのお吸い物</h3> <p>はまぐりは、対になっている貝殻でないと形がぴったり合わないため、「将来、良い相手と出会って幸せになれますように」という願いを込めて使われます。</p>	<h3>ひしもち</h3> <p>厄を払うとされる「よもぎ」入りの草もちをひし形にしたのが始まりとされています。春の景色を表す「桃・白・緑」の3色が使われることが多いですが、地域によって色や形はさまざまです。</p>

給食時間を
振り返ろう

「食育」チェックシート



この1年の給食時間を振り返り、できたことに○を付けましょう。

<h3>給食の前に手をきれいに洗えた</h3>	<h3>給食当番の身支度をきちんとできた</h3>	<h3>食事のあいさつを心を込めて言えた</h3>
<h3>食器を正しく並べることができた</h3>	<h3>お箸を正しく持ち、上手に使うことができた</h3>	<h3>よくかんで味わって食べることができた</h3>
<h3>地域の産物や食文化を知ることができた</h3>	<h3>日本の伝統行事と行事食について知ることができた</h3>	<h3>バランスのよい食事の組み合わせがわかった</h3> <p>牛乳・乳製品 果物 主食 主菜 副菜</p>